

平成 27 年度実施事業行政評価に係る外部評価 開催概要

開 催 概 要	
会議等の名称	平成 27 年度実施事業行政評価に係る外部評価⑦ 「地域福祉推進事業」(福祉施策課)
開催日時	平成 28 年 9 月 29 日 (木) 午前 9 時 45 分から 10 時 45 分まで
開催場所	市役所西庁舎 2 階 第 7・8 会議室
出席者氏名 (敬称略)	外部評価委員 (長久手市行政改革推進委員) 会長 和泉 潤 委員 下崎 一洋 委員 江頭 隆行 委員 高野 晃二 委員 島田 智子 担当課 福祉部長 山下 幸信 福祉部次長兼福祉施策課長 成瀬 拓 福祉施策課課長補佐 山田 美代子 福祉施策課福祉施策係長 堤 健二 事務局 総務部長 布川 一重 総務部次長 青山 均 行政課長 飯島 淳 行政課課長補佐 粕谷 庸介 同主任 加藤 優作
欠席者氏名	なし
傍聴者人数	5 人
公開・非公開	公開
問 合 先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備 考	

外部評価委員の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支え合いマップは、モデルケースの作成が重要 ・ 事務事業 (B 票) 「地域福祉推進事業」の活動指標の「体験研修の回数」は、再考の余地あり ・ 事務事業 (B 票) の内部評価が全部「継続」となっているが、「改善・見直し」だと思う ・ 問題点を見つけて対応して欲しい ・ 常に「見直し」を前提として欲しい ・ 社会福祉協議会への補助方式は、中味をよく精査して効果的な補助に繋げていただきたいと思った ・ 事業及び事務事業の目的の明確化が重要 (目的を成果指標とする)
----------------	---

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none">・改善・見直しを前提として、常に見直しを図っていかないと高齢社会になったとき、対応できないと思われる・事業及び事務事業の目的の明確化が重要(目的を成果指標とする)
--------	--